

## 「命の道が滅びの道が」

詩篇 1編

1

幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は【主】のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。悪者は、それとは違い、まさしく、風が吹き飛ばすもみがらのようだ。それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおおせず、罪人は、正しい者のつどいに立てない。まことに、【主】は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びうせる。詩1:1-6

2

## 楽しそうな悪(世)の道

- 「悪者のはかりごとに歩まず。」
- 神は初めから人間に自分で選ぶ力(選択)を与えた
- エデンの中でも(アダムとエバ)、外でも(カイン)
- 「悪者のはかりごと」の背後には悪魔の影響もある。
- 私たちは自分の選択の責任を問われる

3

## 楽しそうな悪(世)の道

「悪者のはかりごと」の背後には悪魔が  
私たちは神からの者であり、**世全体は悪い者の支配下**にあることを知っています。しかし、神の御子が来て、**真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことを知っています。**それで私たちは、**真実な方のうちに、すなわち御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。**子どもたちよ。偶像を警戒しなさい。 1ヨハネ5:19-21、2コリント4:4

4

## 楽しそうな悪(世)の道

- 悪魔には目的がある、神を疑わせる。信頼させない。人間を神から離す。人間と神との関係を壊す。
- 「**敵に占領された領土—これがまさにこの世界の現状である。**キリスト教が語ることは、要するに、こういうことだ—**正当な王が上陸してきた—**目だたないように身をやつして、**と言ってもよい—**そして、われわれに**—大抵抗運動に参加せよと呼びかけている。**あなたがたが教会に行くとき、実は、味方からの秘密無線連絡にあなたがたは耳を傾けているのだ。だから、敵はわれわれが教会へ行くのを、やっきになって妨げようとする。敵はわれわれのうのぼれや、怠け心や、知的優越感につけ込むことによって、その妨害活動を遂行しようとしている。」(「キリスト教の精髓」C. S. ルイス著 p. 86)

5

## つまらなそうな神の道

- まことに、**その人は【主】のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。**
- この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。ヨシュア1:8
- 【主】のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ【主】のあかしは確かで、わきまのない者を賢くする。【主】の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、【主】の仰せはきよくて、人の目を明るくする。【主】への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。【主】のさばきはまことであり、ことごとく正しい。**それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。**詩19:7-10

6

## つまらなそうな神の道

- 昼も夜も 時間はかかる
- 訓練、努力は必要だけど楽しいよ
- まことに、その人は【主】のおしえを喜びとし、
- みことばを口ずさむ時は、祈りと同じように、神様と一緒に過ごす時間。楽しいよ！
- 「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。』マタイ4:4、申命8:3
- キリストのことばをあなた方のうちに豊かに住まわせ、、、コサ13:16

7

## 2つの道の行き先

- その人は、水路のそばに植わった木のようだ。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は何をしても栄える。 詩1:3
- みことばは、水路のそばの木のように、私たちを成長させ、実を結ばせる。
- **あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。 ヨハネ15:7**
- 良い実を結ぶ良い木に成長させてくださる。

8

## 2つの道の行き先

- だから、**わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に**比べることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。 マタイ7:24-25
- 狭い門から入りなさい。**滅びに至る門は大きくその道は広いから**です。そして、そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。 マタイ7:13-14

9

## 2つの道の行き先

- 神に従う道、神と共に歩み、神と運命を共にする道、「水路のそばに植わった木」の道。
- この世で人気のある自分に従う、自分中心の道(マイウェイ)は、この世と運命を共にする、「風に吹き飛ばされるもみがら」の道
- 世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。  
1ヨハネ2:17

10

幸いなことよ。悪者のはかりごとには歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は【主】のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のようだ。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。  
悪者は、それとは違い、まさしく、風が吹き飛ばすもみがらのようだ。それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおおせず、罪人は、正しい者のつどいに立てない。まことに、【主】は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びうせる。 詩1:1-6

11